

- ・分数で答える場合は、それ以上約分が出来ない数で答えなさい。
- ・根号を含む形で答える場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えなさい。
- ・円周率は π とする。
- ・問題用紙、解答用紙、計算用紙は切り取って使用してはいけません。

1 次の問いに答えなさい。

(1) $\sqrt{3} \times \sqrt{6} - \frac{2}{\sqrt{2}}$ を計算しなさい。

(2) $\left(-\frac{1}{2}\right)^2 \times \left\{ (-3)^3 \div \left(\frac{3}{2}\right)^3 - \left(-\frac{2}{5}\right) \right\}$ を計算しなさい。

(3) $a = \frac{2}{3}, b = \frac{1}{3}$ のとき、 $9ab \times (-2a^3) \div 3ab^3$ の値を求めなさい。

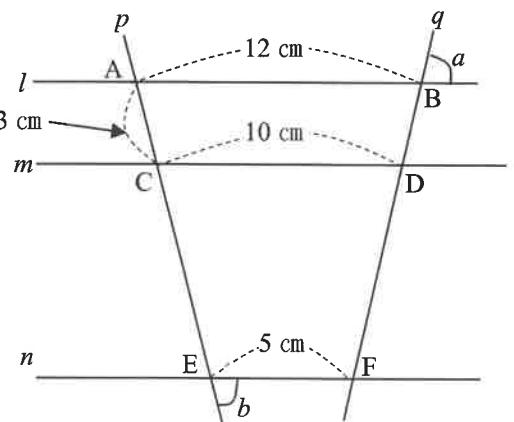
(4) $(a-b)^2 - a + b - 12$ を因数分解しなさい。

(5) 2次方程式 $2x(2x-5)+1=x^2+2x-8$ を解きなさい。

(6) 378 にできるだけ小さい自然数 n をかけて、その結果をある自然数の2乗にしたい。自然数 n を求めなさい。

(7) 関数 $y=ax^2$ と $y=3x+2$ について、 x の値が 2 から 6 まで増加するとき、2つの関数の変化の割合が等しい。このとき、 a の値を求めなさい。

(8) 3つの平行な直線 l, m, n と2つの平行でない直線 p, q が下の図のように交わっている。 $\angle a = \angle b$ のとき、DF の長さを求めなさい。



2 次の問いに答えなさい。

(1) 十分長い階段の中ほどの同じところに、ナオキ君とサトシ君がいる。2人がここからじょんけんを始め、勝つと2段上がり、負けると1段下がる。あいこのときは2人とも動かないが、じょんけんの回数には入れる。じょんけんを25回したとき、ナオキ君はもとの位置より19段上に、サトシ君はもとの位置より2段下にいた。

このとき、ナオキ君の勝った回数、負けた回数、あいこだった回数をそれぞれ求めなさい。

(2) テレビのインチ数は、テレビの画面を長方形と考えたときの対角線の長さのことといい、テレビの画面の横の長さと縦の長さの比は $16:9$ であることが知られている。

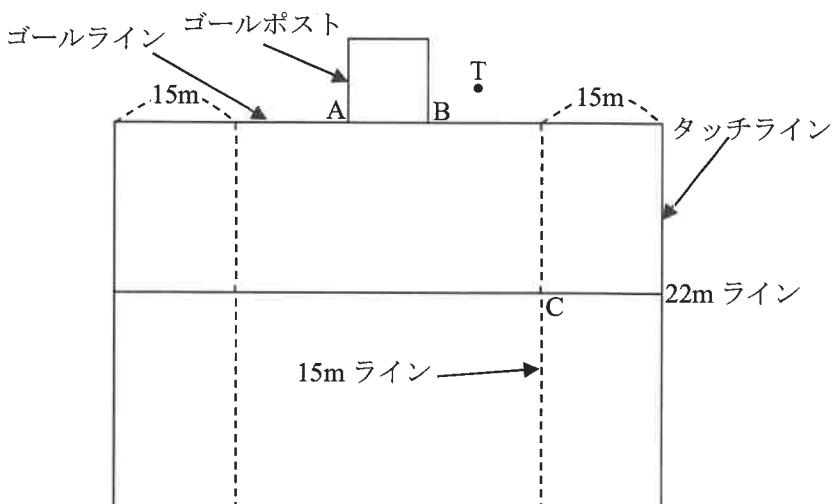
(1) n を自然数とする。 n インチのテレビの画面の横の長さと縦の長さを n を用いて表しなさい。ただし、長さの単位はインチとする。

(2) タカノリ先生は引っ越ししたため、新しくテレビを買い替えようとしている。当初65インチのテレビを使っていたが、引っ越しした先の部屋が元の部屋よりも

広かったため、画面の面積が65インチのテレビの画面の面積の $\frac{18}{13}$ 倍になるべく近い大きさのテレビを買うことにした。タカノリ先生は何インチのテレビを買えばよいか。次の中から最も適当なものを選び、番号で答えなさい。

- ① 70 ② 75 ③ 80 ④ 85 ⑤ 90 ⑥ 95 ⑦ 100

(3) 下の図はラグビーグラウンドのゴールポスト付近の拡大図である。ゴールポストの位置を表す点をA、Bとし、ゴールラインから22mの位置にある22mラインと、タッチラインから15mの位置にある15mラインの交点の1つをCとする。点Tを通りゴールラインに垂直な直線上の点で、ゴールラインから22m以上離れていて、 $\angle ACB = \angle ADB$ となる点Dをコンパスと定規を用いて解答用紙の所定の欄に作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。



3 次の問いに答えなさい。

(1) 1辺の長さが 10 cm の立方体 ABCD-EFGH の各辺 AB、BC、CD、DA、AE、BF、CG、DH、EF、FG、GH、HE の中点をそれぞれ O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z とする。この立方体から平面 ORS、平面 OTP、平面 PUQ、平面 QVR、平面 SWZ、平面 TWX、平面 UXY、平面 VYZ で切りとて作った十四面体を考える。

(1) この十四面体の体積を求めなさい。

(2) この十四面体の表面積を求めなさい。

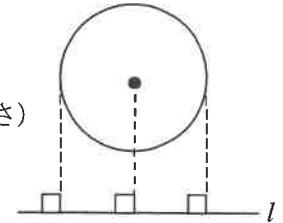
[2] 次の問いに答えなさい。必要ならば次の公式を用いてよい。

- 右の図のように、1つの円とこの円に交わらない直線 l がある。

このとき、直線 l を軸にして円を1回転させてできる

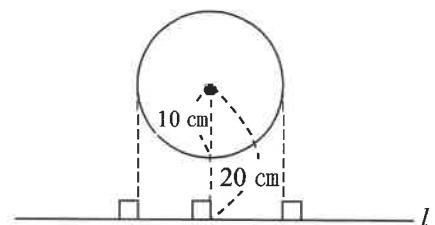
立体の体積は次のように求められます。

$$(回転させた円の面積) \times (回転させた円の中心が動いた長さ)$$

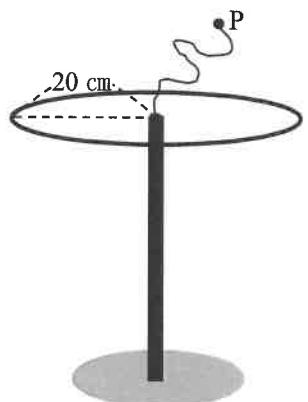


(1) 右の図のように、円の中心から 20 cm 離れたところに直線 l があり、円の半径は 10 cm とする。

このとき、この円を直線 l を軸にして1回転させてできる立体の体積を求めなさい。



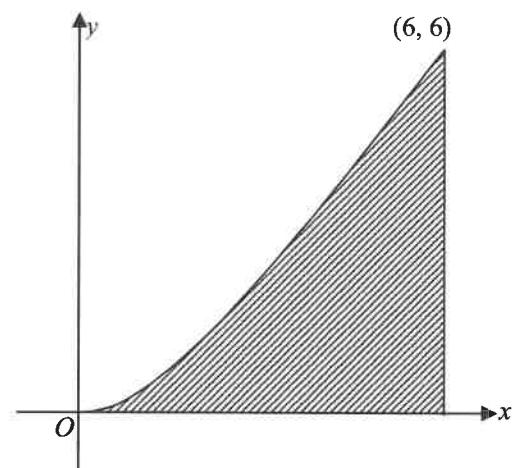
(2) 右の図のように、テーブルの脚が床にしっかりと固定されている。このテーブルは半径が 20 cm の円で、テーブルの脚の長さは 30 cm である。このテーブルの中心に、右の図のように長さ 30 cm の糸の先端を固定した。糸のもう片方の先端を P とし、P が自由に動くことができる部分を V とするとき、立体 V の体積を求めなさい。ただし、テーブルの厚さと脚の太さは考えないものとする。



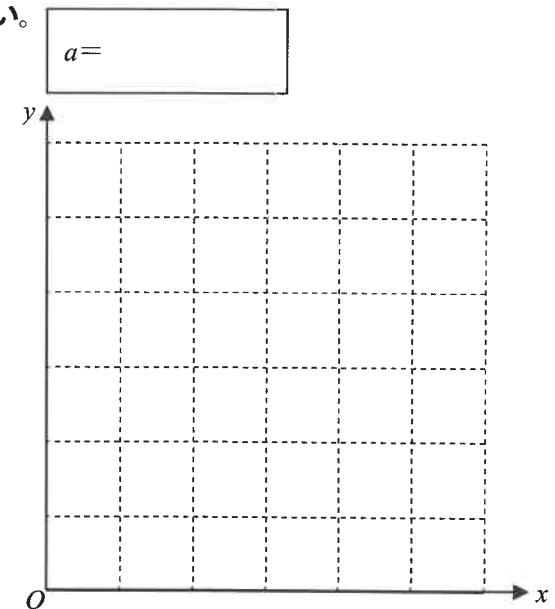
- 4** コンピュータのグラフ作成ソフトを用いて、座標平面上に $y=ax^2$ のグラフを作成する。このソフトでは、 a に値を入力すると自動的にグラフを $x \geq 0$ の範囲で作成する。また、グラフは座標の 1 目盛りが 1 cm の方眼に描かれ、 a の値は正の有理数のみとする。

(1) (6, 6)を通るようなグラフを作成するとき、 a の値を求めなさい。

- (2) a を(1)で求めた値とする。また、下の図の斜線部は、 x 軸、 $y=ax^2$ のグラフ、点(6, 6)を通り y 軸に平行な直線の 3 つの線で囲まれた部分を表し、これを D とおく。
大小 2 つのサイコロを振り、大きい方のサイコロの目を x 座標、小さい方のサイコロの目を y 座標とする点 P が D に含まれる確率を求めなさい。ただし、3 つの線上の点も D に含まれるものとする。



- (3) このグラフ作成ソフトを用いて、コンピュータの画面上で $\sqrt{3}$ cmを作りたい。新たに a の値を指定し、そのときのグラフを解答用紙の方眼紙に描き、 $\sqrt{3}$ cmとなるところを太線で記しなさい。ただし、直線を引くのに定規を使う必要はないが、コンパスは用いてはならない。



数
解
答
用
学
紙

<受験番号>

1

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	

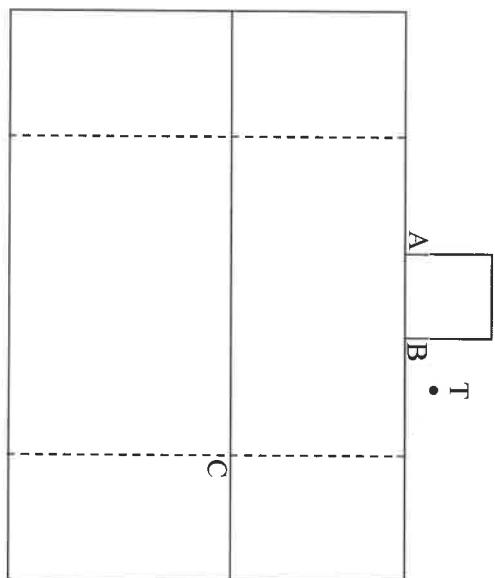
$$x =$$

$$(6) \quad (7) \quad (8)$$

2

勝ち	負け	あいこ
回	回	回
(1) 横	(1) 縦	(2)
イノチ	イノチ	{3}

[1]	
[2]	

**3**

(1)	[1]	(2)	[2]
cm ³	cm ²	cm ²	cm ³

4

(1)	(2)	(3)
a =		

$$a =$$

